



国立女性教育会館女性アーカイブセンター企画展示 「お産の歴史展」

森未知(独立行政法人国立女性教育会館情報課)



国立女性教育会館【略称 NWEC(ヌエック)】は、東京都の池袋駅から東武東上線で約1時間、埼玉県中央に位置する嵐山町にあります。1977年に文部省の附属機関として設立された、女性教育の指導者・関係者に向けた研修や女性教育に関する調査研究を行い、男女共同参画社会の促進に資することを目的とした宿泊研修施設です。館内に男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館「女性教育情報センター」、そして女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の史・資料の収集・整理・保存・提供を行う「女性アーカイブセンター」があります。

本館1階にある展示室では2024年9月23日(月)まで「お産の歴史展」を開催しています。明治時代、「医制」や「産婆規則」により産婆の免許や教育制度が整えられ、昭和戦時下の「産めよ増やせよ」や戦後のベビーブームを経て、1950年代には家族計画運動が普及し出生率が下がり、出産の場所も自宅から病院へと急激に変化します。その後、医療によらないお産を取り戻す動きや、パートナーや家族の立ち合い出産が増加します。残された資料からこの歴史を学び、同時開催する「100人のお産プロジェクト」による写真展「100

人のお産展」から、現在のさまざまなお産を知り、安心して出産できる社会づくりを考える機会となるよう、企画しました。本展示は、産婆助産婦歴史研究会による「日本の産婆史料のデジタル化と出産記録に基づく助産の歴史社会学的研究」(研究代表者：大出春江)の成果の一部です。

この企画展示に合わせて、女性教育情報センター所蔵の図書資料テーマ展示「出産の歴史」(4~6月)も行っています。

「お産の歴史展」同時開催「100人のお産展」

期間 2024年3月16日(土)~9月23日(月)

会場 国立女性教育会館女性アーカイブセンター
展示室(〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地)

時間 9:00~17:00

入場料 無料

主催 独立行政法人国立女性教育会館

協力 産婆助産婦歴史研究会、100人のお産プロジェクト、一般社団法人大阪府助産師会、公益社団法人京都府助産師会、昭和のくらし博物館、ベルランド看護助産大学校

URL <https://www.nwec.go.jp/event/archive-center/>

女性デジタルアーカイブシステム「資料群42 産婆助産婦歴史研究会コレクション」ご紹介

2024年3月、女性デジタルアーカイブシステムに「資料群42 産婆助産婦歴史研究会コレクション」を公開しました。京都府助産師会から寄贈された、「大日本産婆會總會並大會々誌」「産師法制定請願書」「会員名簿」、宮城県助産師会から寄贈された「助産婦再教育講習會資料」、長野南佐久助産婦会の「昭和五年九月決

議録」、鳥取県助産婦会の「助産婦短期講習ノート」5冊など440件の目録と、著作権等の問題ないものはデジタル画像を公開しています。ぜひご利用ください。

https://w-archive.nwec.go.jp/il/meta_pub/G0000337warchive [2024/5/10 アクセス]